



## AI時代に「人とのつながり」を大切にする

足寄町立足寄小学校長 池田圭子

校庭の木々もすっかり雪をまとい、本格的な冬の到来となりました。例年のない雪の深さに驚きつつも、白い息を弾ませて登校する子供たちの姿に、たくましさを感じる毎日です。保護者・地域の皆さまには、今学期も本校の教育活動に多大なるご理解と、温かなご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

二学期は、北海道と思えないような暑さから秋の実りの季節を経て、氷点下の厳寒の冬へと向かう長い学期でしたが、子どもたちの歩みを振り返りますと、そこには常に「他者との関わり」の中で、楽しみ合い、喜び合い、学び合い、悩み、笑い合い、成長する姿がありました。その成長を日々支えてくださいます皆様、大変ありがとうございます。

## 効率の先にある「温もり」

さて、昨今は「生成AI」の話題を耳にしなれない日はありません。問いかければ瞬時に答えが返り、文章や絵も見事に作ってくれるその便利さは、目を見張るものがあります。これからの社会を生きる子どもたちにとって、AIは可能性を広げてくれる強力なパートナーとなるでしょう。

しかし、AIがどれほど進化しても、決して代替できないものがあります。それは、「体温の通った対話」と「心の共鳴」です。例えば、氷点下の朝の挨拶運動。AIの音声で正確に再生される挨拶よりも、寒さに少し声を震わせながら、相手の目を見て交わす子どもたちの「おはようございます」には、数値化できない力が宿っています。かじかんだ手をさすり合い、友達の顔色がいつもと違えば「大丈夫？」と一歩歩み寄る。こうした、効率や正解だけでは測れない「不器用なまでの思いやり」こそが、人間の持つ美しさではないでしょうか。

## 偉人の言葉に学ぶ「出会い」

「腰骨を立てる（立腰）」という姿勢の指導や、「挨拶・返事・履き物揃え」という「躰の三原則」を提唱し、日本の教育界に大きな足跡を残した哲学者、森信三氏は、次のような言葉を残しています。

### 「人間は一生のうち、逢うべき人には必ず逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に」

デジタルの世界では、情報はいつでも手に入ります。しかし、人を真に成長させるのは、画面越しのデータではなく、生身の人間との「出会い」であり、そこで交わされる「言葉」です。友達と意見がぶつかって流した悔しい涙も、先生や地域の方に褒められて照れくさそうにした笑顔も、すべてはその瞬間にしか生まれえない、二度とない「出会い」の結果です。AIは「正解」を教えてくださいますが、「心の揺らぎ」や「葛藤」までは共有してくれません。人と人が膝を突き合わせ、表情を読み取り、行間を感じ取るアナログな対話こそが、子どもたちの心の土壌を豊かに耕していくのだと確信しております。

## 温かなつながりの中で

地域や関係機関の方々が学習を支えてくださったり、雪道の登校を見守ってくださったりする姿に、子どもたちは「自分たちは大切にされている」という安心感を抱きます。便利な道具としてのAIの良さは生かしつつ、私たち人間にしかできない「心を通わせる時間」を、これからも学校教育の根幹に据えてまいります。

12月26日から始まる冬休み、ご家庭でもぜひ、デジタル機器から少し離れ、じっくりとお子様と「対話」を楽しむ時間を持っていたいただければ幸いです。

この一年、本校に寄せられた温かなご厚情に改めて感謝申し上げますとともに、皆さまが健やかに新年を迎えられますようお祈り申し上げ、二学期の締めくくりの挨拶とさせていただきます。

## 小小連携・小中連携

### 中学校への滑らかな接続

12月16日（火）、足寄町内の小学校間で午前中に「小小連携」、午後に「小中連携」をおこないました。小小連携では、足寄町内の5年生、6年生がそれぞれの学年ごとに3校時と4校時、一緒に学び、給食を食べて交流しました。また午後からは6年生が足寄中学校へ行き、校舎内の見学や中1のみなさんと交流しました。中学校へ向けての滑らかな接続ができるよう学習面や生活面だけでなく、友達同士のつながりも大切にしていきたいです。

#### 目的

##### 1 児童の社会性の育成

異なる学校の児童と関わることで、コミュニケーション力や協調性を育む。

##### 2 学びの質の向上

集団活動や協働的学びを体験し、視野を広げる。

##### 3 中学校進学への安心感の醸成

進学後に一緒になる仲間との関係づくりを早期に始め、不安を軽減する。

##### 4 教師間の教育実践交流

指導方法を共有し、町全体の教育力向上を目指す。

#### 活動の概要

5年生「共に学び、共に創る力を育てる」

6年生「中学校への架け橋」

活動内容 体育5年「跳び箱・マット運動 6年「ミニバレー」  
(足小 田中教諭・古川教諭)

外国語「買い物をしよう」

(足中 加藤教諭・ブリアーナ)

#### 成果

- 他校の児童と協力しながら課題に取り組む中で、協働性や社会性が高まったことが見られた。
- 多様な考えを尊重し、自分の意見を伝える力や聞く力が向上した。
- 6年生は、進学を意識した交流を通じて、安心感やリーダーシップの芽生えが確認できた。

今後も児童の成長を支えるため、町内の学校と連携しながら教育活動を充実させてまいります。

#### 小小連携



#### 小中連携



人とつながる

## フロアカーリング・ ボッチャ体験会

ネパール足寄の皆さんが教えてくださいました

ネパール足寄の皆さんが、中休みに来てくださり、新スポーツとして注目されている「ボッチャ」「フロアカーリング」の体験をさせていただきました。12月2日・3日は低学年、12月9日・10日は高学年。誰でも気軽にできる「ボッチャ」と「フロアカーリング」。その楽しさに、参加した子どもたちの笑顔ははじけていました。



ボッチャ



フロアカーリング

## 児童会企画 全校遊び

みんなで遊んで、仲良くなることを目的に、児童会が発案・企画・実行しました。

タンバリンの音の数で友達とグループをつくりました。子どもたちは人数を自分たちで調整しながらグループを作っていました。また、○年生と△年生、◇年生を必ず入れてグループをつくる条件がついた時にも、高学年が中心になって声を掛け合い、グループを作っている姿が印象的でした。初めて声を掛けることの勇気、その一歩を踏み出した子もいるのでは？グループを作った後はグループで自分の紹介等もして、交流をしていました。

児童同士のつながりもより一層深まりました。



全校遊び

## 人とつながる

### お茶会体験

### 文化を感じ、理解する 足寄の松崎晴美さんを講師に

第6学年の社会科の授業で「室町文化」を学びます。室町文化は室町時代に花開いた多様で特色ある文化です。金閣寺や銀閣寺の建築、枯山水庭園、能や狂言などの伝統芸能、茶道や生け花、水墨画・・・等々。現代に受け継がれているものがたくさんあります。

室町文化の一つ「茶道」を第6学年が体験しました。足寄の松崎晴美さんを講師に、茶道の心得のある本校の幾島教諭がコラボしての学習となりました。

教科書や資料集、動画等で見たり、聞いたり、調べたりすることも大切ですが、実体験をすることで「知識を知る」から「文化を感じる・理解する」へと学びを深めることができました。実体験をしたことで記憶・感情・主体性・協働性・創造力が培われたことでしょう。



## 地域とともにある 学校づくり

### 学校運営協議会

12月9日に学校運営協議会会議がありました。学校運営協議会は地域と学校と一緒に「どんな学校にしたいか」「どんな子どもたちを育てたいか」を話し合います。今回は、学校評価や各種評価から、「電子メディアに触れる時間が長く、学習時間が短い、そして読書習慣が身につけていない」という点から話し合いをしました。「ゲームの時間を制限したり、ルールを決めたりするのは難しい」「時間を持て余すとゲームをしてしまう」「どうやったら子どもを飽きさせない時間をつくれるか」「家庭の力だけでは難しい きっかけづくりをしてはどうか」と意見交換しました。そして、「冬休みは家族で『アナログ時間』を楽しもう」という家族みんなで楽しむ時間をつくる呼びかけをしようということになりました。冬休みは家族で過ごす時間も増えます。家族でボードゲームやテーブルゲーム（トランプ・UNO・すごろく・オセロ等々）をして、楽しい思い出をつくってみませんか？



### 1月の行事予定

- |        |          |        |               |
|--------|----------|--------|---------------|
| 14日(水) | 3学期始業式   |        |               |
| 16日(金) | 児童会      |        |               |
| 20日(火) | こども園交流学習 | 28日(水) | 中学校入学説明会      |
| 21日(水) | 町議会      | 29日(木) | 新入学児童<br>一日入学 |
|        | 文教常任委員訪問 |        |               |